

輝け！天神山っ子Ⅱ

Ⓟ



令和6年2月22日(木)

コミュニティスクール春日市立天神山小学校

NO36

校長 月原 浩

令和5年度 CS春日市立天神山小学校 重点目標

「仲間」とつくる 素敵な1日

～気づき・考え・行動する～

うれしかったこと2..



左の左写真は、JRC 委員会の委員長と副委員長のみなさんです。中央が委員長6年4組五所燈和(ごしょひより)さん、左が副委員長6年1組山本絢心(やまもとけんしん)さん、右が副委員長5年2組新宮希々果(しんぐうののか)さんです。

先々週になりますが3人が突然校長室を訪ねてきました。委員長の五所さんがいきなりの質問です。日本に天神山小学校は何校ある

のでしょうか?という問いです。私は、自信満々に2校です、と答えました。ネットで天神山小学校を検索すると、いつも七尾市の天神山小学校が視界に入っていました。そこに新年早々の能登半島地震。新聞などを見る機会が多かったので「七尾市」も目に飛び込んできていました。あっ、同じ天神山小学校も被害にあわれているのだなと思っていました。すると、正解は3校だそうです。大阪府の岸和田市にも天神山小学校があるそうです。

本題に戻ります。その五所さんたちから、能登半島地震で災害で苦しんでいる人達がいるので私たちにできる事がないか委員会で話合いました、との話がありました。具体的に何をしようと思っているのか尋ねると、2月26日月曜日から1週間、募金活動を行いたいという申し出でした。それまでの間に災害の様子や今の現状などをまとめ、全校に伝えたいとの事でした。

とてもうれしい申し出でした。能登半島は地理的にも山地が多く、復興も思うように進んでいません。停電はほぼ解消したようですが、水、住宅など、まだまだ厳しい現状です。そのような現状を子どもたちに伝え、今からまだまだ支援が必要。そしてお金だと必要なものに使っていただける。だから募金活動は、とても被災された人たちのためになる行為だと思うよと伝えました。

またまた本年度の重点目標「仲間」とつくる素敵な1日～気づき・考え・行動する～を具現化した子どもたちの姿でした。来週から1週間募金活動をするようです。皆様のご理解、ご支援よろしくお願ひします。なお、これは全然強制ではありません。様々な方法で既に行動されているご家庭もあることでしょう。できる人ができる範囲でかまいませんので。